

<第4717回>

目的地：阿蘇山（中岳）

担当者：西村

実施日：2026年5月29日（金）～31日（日）

形式：ハイキング（フェリー泊）

費用：¥31,500.-

参加者：5名

行程：

5月29日（天気：快晴）

大阪南港・さんふらわあ第1ターミナル(20:05)⇒[フェリー・さんふらわあ泊]

5月30日（天気：快晴）

⇒(7:55)別府観光港(9:15)⇒阿蘇山上有料駐車場・古坊中登山口(11:38)→(11:54)砂千里登山口(12:01)→
(12:58)南岳(13:01)→(13:12)中岳(13:26)→(13:49)南岳(13:50)→(14:39)砂千里登山口
(14:40)→(15:04)阿蘇山上有料駐車場(15:40)⇒別府観光港⇒(19:20)⇒[フェリー・さんふらわあ泊]

5月31日（天気：快晴）

⇒(7:25)大阪南港・さんふらわあターミナル[解散]

感想：

これでもか！、というくらい、快晴に恵まれた阿蘇山でした。

一昨年の九重山例会で初乗船した、新造船の快適な「さんふらわあ」に再び乗船。今回はそれぞれ個室をご用意いただき、地上にあるホテルの個室と変わらない快適な空間で、「ホテルで眠っているうちに九州に着いた」という感想でした。

ちょうどミヤマキリシマの良い時期だったのか、フェリーも満員で、到着した別府観光港も賑わっていました。

レンタカーで登山口に向け出発。別府は市街地でもたくさんの温泉旅館の看板が見られ、しみじみと「温泉の街なんだなあ」と実感しました。

阿蘇山に近づくにつれ、どんどん景色も緑に満ちてきます。ぱっと視界が開けると、本州とは違った雰囲気、広々とした空間に広がる雄大な阿蘇の山並みに、みなさん「わあ」と感動しておられました。

目的地の砂千里登山口より手前の草千里周辺は、好天の休日に、たくさんの観光客で、私達の下山後の帰路でも、まだ駐車場に入りきれない車でいっぱいでした。

砂千里登山口で上方を見上げると、噴火口近くまでの道路を見守っている男性が見えました。誤ってロープの内側に一歩踏み込んだだけで、「バア—ック！（Back!）」と注意喚起され、火山で有名な観光地であるだけに安全への配慮がきちんとされているな、と感じました。

登山道からの景色は、垣間見える噴火口を取り巻く独特の風景と、歯ごたえのある岩稜、かと思えば眼下に見える緑豊かな丘陵…。快晴の青空とのコントラストがまた印象的でした。

往復とも楽しい船旅での船中泊で、いまどきの言葉でいうところの「タイパとコスパ」の両方が叶えられた、盛りだくさんの充実の例会でした。限られた時間のなかでも、車内での楽しいお喋りや、例会中のみなさんのチームワーク、そして帰路の「さんふらわあ」での和気藹々とした打ち上げ会…。

登山と旅を楽しめた、まさに「山旅」でした。

例会報告作成担当：K